2019年度サービス管理責任者・
児童発達支援管理責任者　基礎研修
事前課題事例

<u>事例タイトル</u>

父親との暮らしが困難になり、共同生活援助（グループホーム）と就労継続支援B型のサービスを利用しながら地域で生活することを希望している男性の事例

※この事例は架空の事例であり、登場する人物・団体等は実在するものではありません。
しかしながら、実在する方々に向き合っているつもりでこの事例に向き合い、
支援対象となる方やそのご家族が幸せになる為にはどうしたら良いのかを、
サービス管理責任者等の視点に立って考えて下されば幸いです。

事例概要①

- 春日春男さんは、四葉市で出生。きょうだいはいない。両親に可愛がられながら育つ。
- 初語や歩行が少し遅かったが、3歳児検診などでは特に保健師の指摘事項はなかった。2歳の頃から認可保育園に通園。少し落ち着きはなかったものの、他の子と同じように過ごしていた。
- 小学校の１～３年生の時は普通学級に通っていたが、授業中落ち着きが無く近くの友達に話しかけ続けたり、席を立って教室内を歩きまわる事があった。
- 友達から「春男くんうるさい！」などと言われると、怒って大声をあげる事もあった。
- 本人が大きな声を出した時、小学1，2年生時の担任は、優しく諭すように話をしてくれており、本人も徐々に落ち着くことが出来たそうだが、小学3年生時の担任は、大きな声を出すと強く叱責していたそうである。強い口調での叱責を聞くと、春男さんは委縮してしまい、その授業中固まってしまっていたが、本人が静かに座っていることでそれ以上その先生も注意などしなかったとの事。
- 小学校3年生の時の家庭訪問の際、年齢の割に落ち着きが無い事を担任が指摘。一度特別支援学級の先生を含めて話をする事となる。その結果、児童相談所につながり、発達検査などを受け、軽度の知的障がいであることが分かった。
- 小学4年生からは同学校にある情緒支援学級（特別支援学級）に移った。学校行事以外は基本的には支援学級専用のカリキュラムが作られており、整った環境で過ごす事で春男さんは徐々に落ち着き、授業中も意欲的に勉強する事が出来るようになった。
- 小学生の頃から昆虫が好きで、この頃は昆虫の図鑑に熱中していた。
- 中学は普通中学の特別支援学級に進学。小学校と同じく、支援学級専用のカリキュラムが整っていた。部活には所属せず、友達と遊ぶことはほとんどなかった。帰宅後、図鑑だけではなくインターネットを使って昆虫の動画を見る事も多かった。
- 勉強は、難しい漢字も読むことは出来たが、書くのは苦手。簡単な漢字でも線が1本抜けている事が良くあった。計算はあまり得意ではなかったが、電卓を使う事は出来ていた。
- 父が大工という事もあり、技術の授業で木工をした際にはとても興味を持って取り組んだ。授業で作った本棚を、自宅でも父に教えてもらい、更に大きいものを作った事もあった。

事例概要②

- 春男さんが中学校２年生の時に母が病気で他界。春男さん、父との２人での生活となる。とても悲しみ、2週間ほど学校を休んでしまったが、父に励まされて再び学校へ行くようになった。
- 父は仕事と家事の両立しようと懸命に頑張ってくれたものの、難しく、食事はレトルトや総菜、コンビニの弁当が多かった。また、自宅内も片付けられなくなってきて、徐々に乱雑になった。
- 母の死後、インターネットを夜中まで見る事も増え、特に月曜日に朝起きれず、遅刻したり、休むことも出てきた。それでも、父や学校の先生に促され、卒業まで学校に通い続けた。
- 高校は特別支援学校の高等部へ。担任の先生の誘いで太鼓部に入る。最初はあまり興味を持っていなかったが、顧問が根気よく教えてくれた事で徐々に興味を持ち、楽しく過ごしていた。太鼓部に行きたいという想いが強く、そのおかげか遅刻や欠席はほとんどなくなった。
- 太鼓部で出来た友達が昆虫の話をよく聞いてくれる人で、その友達と良く話をしていた。
- 高校でも授業で木工があった時には集中して取り組むことが出来、椅子や踏み台などを作っていた。
- 高校の進路指導の先生からの紹介で、高校3年生の時に工業製品を作る工場に実習に行く。実習担当者が非常に丁寧に春男さんに教えてくれた事もあり、春男さんはその会社での就職を希望。作業ペースはやや遅いものの、手先が器用な点を評価され、採用となった。就職が決まった時には大変喜んだ。
- 就職後は実習担当者が直属の上司となる。新しい環境で、最初は慣れない事も多かったが、上司の理解があり、分かるまで丁寧に教えてくれ、本人もやりがいを持って安心して働く事が出来ていた。
- しかし、就職して２年経過した後、異動の為上司が変わる。最初の頃は、春男さんも新しい上司と一緒に頑張ろうという気持ちが強かったが、新しい上司が他の職員の対応に追われて春男さんにあまり気を配れなくなり、ミスがあった時のみ注意をするようになった。
- 上司が変わって3か月ほど経った頃、「上司からの注意が怖い」「仕事に集中して取り組めない」などと父に訴え、徐々に仕事に行けなくなってしまう。更に3か月ほど経つ頃にはほとんど出勤できなくなり、職場に促される形で退職。21歳の10月、無職となりほとんど自宅内での生活となる。本人もショックを受けていたが、父が非常に落胆していた。

事例概要③

- 就職した時から、昼食代として毎日1000円の小遣いをもらって、コンビニでお弁当とジュース、お菓子を買い、毎日ほとんど使い切っていた。働いていた時は体重に変化はなかったが、自宅での生活で体を動かすことがなくなったからか、元々細身だった春男さんの体重は1年後には10キロ増えて70キロとなった。
- 春男さんが退職して約1年後（春男さん22歳）、父が知人の勧めで市役所の福祉課に行き、春男さんの現状を相談。「退職後に引きこもっている春男を働かせたい」「春男は家の事も何もできない。自分が教える余裕はない。身寄りもなく、自分が死んだ後の事が心配」「あと1年で自分も定年となり、その後の事がどうなるか分からない」という内容。
- 市役所から相談支援事業所に相談するよう勧められ、事業所一覧の中で自宅に近い相談支援センター「ひまわり」に連絡。ひまわりの相談支援専門員の永積さんは自宅を訪ね、春男さんと話をした。
- 永積さんとの話の中で出てきた春男さんの話は次の通り。
「今の生活は楽で良い。大好きな父とも一緒にいたい。だが、父に迷惑を掛けているのは分かる」
「仕事をしないといけないとは思うが、自信がない。怒られるかもと思うと怖い」
「どうやって仕事を見付けたらいいのか分からない。どんな仕事があるのかも知らない」
「父から、このまま家でずっと一緒に生活することは出来ない、一人暮らしをしなさい、と言われ、とても不安。一人で生活する事なんて考えたことがなかった」
「父や、高校の太鼓部の先生のようなかっこいい大人になりたい」
- それらの話を聞き、永積さんとしては、「グループホーム（GH）で生活をして、生活スキルを身に付ける事で1人暮らしのイメージを持ち」、「就労継続支援B型事業所（B型）に通所して、働く自信を身に付けながら、将来どのような働き方をしたいかを考えていく」ことが、春男さんや父の現状から考えると良いのではないかと感じた。
- その為、春男さんと父に、GHとB型の説明をして見学を提案。後日、春男さんと父、永積さんはいくつかのGHとB型を見学。その中で、 **GHは「あさがお」、B型は「たんぽぽ」**を希望した為、体験利用をした。
- 体験利用後、利用を希望した為、永積さんは更に詳しく春男さんの希望を聞き取り、**サービス等利用計画案を作成**。それを基に、**関係者を招集してサービス担当者会議を開催**する事となった。

基本情報

春日　春男（かすが　はるお）さん　　22歳　男性　四葉市生まれ	
家族構成	父　秋男（あきお） 大工をしているが、約1年後に定年を迎える。 面倒見がよく、母の死後、懸命に仕事と家の事を両立させようとしていた。仕事も忙しく大変な苦労をしているが、春男さんをとても大切に思っており、支えてきた。 定年を間近に控え、春男さんの事を独り立ちさせたいという想いが強いが、どうしたら良いのか分からない。知人の勧めで役所に相談している。福祉制度の事はよく分かっていない。 母　冬子（ふゆこ）　故人 春男さんが中学2年生の時に病気で他界。スーパーでパートをしながら、家の事を全て行なっていた。 春男さんもお母さんの事は大好きで、亡くなられた際には春男さんが非常に悲しんでいた。 ※祖父母は早くに亡くなっており、近隣に頼れる親類はいない。
手帳・区分	療育手帳B２ 障害支援区分２ 知的障がいとの診断
経済状況	障害基礎年金2級受給中（約65000円／月） ※家庭は経済的に裕福ではないものの、「可能な範囲でお金は出したい」と父。
相談に至る経緯	春男さんが退職後1年ほど自宅で生活をしており、父が将来を心配して役所に相談している。

アセスメント表①

記録：相談支援センターひまわり　相談支援専門員　永積	
望んでいる 暮らし	<u>生活面</u> ・今の生活が楽ではあるが、父に将来一人暮らしをするように言われ、不安。今まで一人暮らしをするなんて考えた事は無かった。 ・GHを体験して、職員さんが手伝ってくれるのなら、父と離れても生活できるかなとは思った。世話人さんが優しく話してくれて嬉しかった。 ・家事などは全く経験がない。体験の時は、洗濯と掃除を教えてもらったが、自分一人で出来るかは分からない。 <u>仕事面</u> ・自分でも、いつかは仕事をしなきゃいけないとは思っていたが、前の職場で注意されたことが怖くて、自信がない。 ・どうやって仕事を探したらよいのか、誰に相談したらよいのかも分からなかった。 ・B型を体験した時、職員さんが優しく教えてくれたので、楽しかった。 ・自分がどんな仕事が向いているのか分からない。どんな仕事があるのかもよく分からない。工場、大工、コンビニの店員、電車やバスの運転手…他には何があるんだろう？ ・父や、高校の太鼓部の先生のようなかっこいい大人になりたい <u>その他</u> ・一緒に遊ぶ友達が欲しい。昆虫の話ができる友達ができたら最高。 <u>父の想い</u> すぐにでは無くても良いので、就職して収入を得て、1人で生活できるようになって欲しい。
心身の状況	身長175㎝ 体重70キロ　健康面に大きな問題はないが、この1年で10キロ体重が増加した。
精神面の状況	自分のペースを乱されたり、急かされたりするとイライラする感じが見られる。 注意や叱責が苦手な他、威圧的な態度も苦手な様子。 高校時代の担任の先生は「穏やかに過ごしていた」「集中している時は、周りの声も耳に入らない」と言われていた。

アセスメント表②

記録：相談支援センターひまわり　相談支援専門員　永積	
生活の自立度	夜更かしして朝起きるのが苦手。生活リズムが不規則になりがち。 ADL は自立している。 家事は手先が器用なので練習すればできるようになるのではないか。 やり方や手順について確認する必要がある。
気持ちの自立度	家を離れた暮らしは全く経験がなく、初めは戸惑うこともあると思われる。 また、幼少期は自分の思い通りにならないとイライラしていた事もあり、今後初めての他者との生活において、他の方とトラブルになる可能性は考慮しておく。
服薬状況	特になし。 体調不良時などは、父から言われて薬を飲んでいた。
経済状況 (今後の見込み)	【収入面】 障害基礎年金2級　（約64,000円／月） B型事業所の工賃　（毎日通えば30,000円程度となる見込み） ※本人の貯金（前職の際に貯蓄）が50万円ほどあり、グループホーム入居の際に必要なものはこれを使って購入する予定。 【支出面】 グループホームの費用　総額73,000円（実質63,000円） 家賃　25,000円（家賃補助10,000円あり） 食費　20,000円 光熱水費　15,000円 日用品費　3,000円 生活費（おこづかい）　10,000円 金銭管理は、仕訳を手伝えばその金額の中で使用することは可能。 ただし、欲しい物（お菓子など）を買いたい気持ちが高まると、浪費してしまうことがある。

アセスメント表③

記録：相談支援センターひまわり　相談支援専門員　永積	
趣味	昆虫の図鑑やインターネットで昆虫の動画を見ること。 手先が器用で、木工は好きだったが、自分から自宅で行なう事はほぼない。 お菓子やケーキが好きで、買い物に行くとついつい買ってしまう。
キーパーソン	父親。 本人は父の事を尊敬している。 自分にできる事は何でもしたいとも言ってくれており、協力的。 福祉サービスについて詳しくはない。
家族	母は春男さんが中学2年生の時に病気で他界。 それ以降、父との2人暮らし。 父方、母方とも、祖父母は春男さんの幼少期に他界している。 また、近隣に親戚はいない。
相談支援専門員 所見	自分の将来について具体的にはイメージできていない（イメージする機会があまりなかった？）ようだが、今回の父からの相談をきっかけに、徐々にではあるが仕事や生活に関して考え始めたように思われる。 仕事は以前勤めていた経験もあり、また手先が器用という情報からも将来的な就労などは可能ではないかと考えられるが、前職での人間関係の不安などから本人に自信がなく、また、どのような職に就きたいかという具体的な希望やイメージもないため、まずはB型を利用してはと考える。 また、家事の経験はないとの事だが、父亡き後の生活を父も心配しており、今の内にGHの利用を行なう事で、本人の生活力などを見ていき、どのような生活を希望するのか、本人と考えていければと思う。 春男さんは、良く自分の事を話してくれる。笑顔も見られ、年齢相応の好青年という印象。 服装には少し汚れが目立っており、寝ぐせもついていた。 こちらの説明に対して「はい、はい」と返事をするので、分かっているように見えるが、全てを理解して返事をしているのかは不明。

アセスメント表④

コミュニケーション	表現性コミュニケーション 　口頭での表現が可能。語彙力は日常生活での会話に関しては不足しているようには感じない。好きな話題なら特に、積極的に話してくれる。質問に対しても自分の想いや考えを伝える事が出来る。会話中に笑顔も見られ、会話は好きな様子。昆虫の話題をした際には特に笑顔が見られ、会話を辞めようとしない様子も見られた。 受容性コミュニケーション 　口頭での話しかけを理解しているものの、話しかけに対して「はい」と頷きつつも、後から確認すると理解できていない事などがあり、簡単な説明や、理解できたかの確認が必要。 代替コミュニケーション 　口頭でのやり取りがほとんど。漢字は、読みは得意だが、書く際は線が1本多い、部首が違う、などが見られる。 その他 　本人が「怖い」と感じてしまうと、苦手意識を持ち、その人とのコミュニケーションが取りにくくなる。逆に、「優しい」と感じる人と一緒ならば、部活も仕事も頑張って続けられた経緯もあり、キーパーソンとなる人の人柄が重要だと感じる。
社会参加・移動	高校卒業後、就職し毎日仕事に行くことが出来ていた。就職3年目に上司が変わり、その半年後に仕事に行けなくなり、そのまま退職。以降、ほとんど自宅内で過ごしており、近隣のコンビニ以外は地域とのつながりは希薄。 高校の友達とも、学校以外で会う機会はあまりなかったそうで、現在は父以外との関りがない。 春男さんは、昆虫が好きだったり、父の影響で大工仕事に興味があったりする為、それらがきっかけで外部とのつながりが持てないかと感じる。 公共交通機関の利用経験はほとんどないものの、練習をすれば使えるようになるのではと思われる。
家庭生活	家事などは親に頼っていた為、自分で出来る事が少なく、本人もその事を自覚している。 その為、GHの生活を経験し、自分で生活する力を身に付けていく必要がある。

アセスメント表⑤

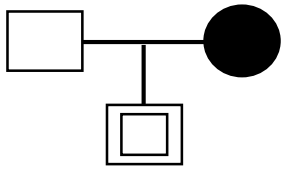
	項目		介助	詳細	項目		介助	詳細
日常生活能力	起居動作	起き上がり	不要		排泄行為	排尿	不要	
		寝返り	不要			排便	不要	
	姿勢保持	座位	不要		食事全般	飲食行為	不要	
		立位	不要			食事状況	要	母の死後、コンビニ弁当やレトルトが増える。また、お菓子も好き
	移動	屋内	不要			食事の後片付け	要	声を掛ければ下膳は出来る
		屋外	要	公共交通機関は経験乏しいが練習すれば出来ると思われる	調理全般	調理	要	調理経験はほぼない。 レンジは温めのみ使える。
	衣類着脱	着脱行為	不要			安全確認	要	包丁や火の使用経験はほぼない
		服装の選択	要	季節や場面に合わせた選択は苦手	入浴全般	入浴準備 片付け	不要	シャワー浴中心。着替え準備などは出来る
	整容行為	歯磨き	不要	行為としては自立。丁寧さは不明。聞取り時、目やにがついていた		入浴	不要	行為としては自立。丁寧さは不明
		洗顔	不要		家事全般	洗濯	要	経験はほぼない
		整髪	要	短髪。面談時、寝ぐせあり。		洗濯物干し	要	経験はほぼない
		ひげそり	要	時々そり残りあり声掛け必要		掃除	要	経験はほぼない
		化粧		化粧はしない		衣類整理	要	経験はほぼない
	衛生保持	手洗い	不要	丁寧に洗える		所持品整理	要	経験はほぼない。部屋の中は物が少ないものの散らかっていた
		爪切り	不要	常に短く切っている。		ベッドメイク	要	経験はほぼない
		耳掃除	不要	行為としては自立。丁寧さは不明				
		月経						

特記事項　家事に関してはほとんど経験がないものの、本人の理解力を考えると、練習すればある程度出来るようになるのではないかと感じた。整容行為などは、聞取りからは自立した様子が伺えるものの、やや体臭もあり、丁寧さが欠けている可能性もある。全体的に、生活面での行為に関してしっかりと教えてもらえた経験が乏しいのではないかという印象。

アセスメント表⑥

	項目		介助	詳細	項目		介助	詳細
行動面	行動面での障害1	こだわり行動	要	自分の手順にこだわる事がある	行動障害面での2	自傷行為	不要	
		徘徊	不要			他者に対する粗暴行為	不要	小学生の頃はあったが、現在は無い
		無断外出・無断外泊	不要	自宅から1分ほどのコンビニ程度		器物に対する粗暴行為	不要	
		錯覚・幻視・幻聴	不要			奇声や騒がしさ	不要	
		被害妄想	不要			パニック	不要	
		自殺願望・企画	不要			多動・行動の停止	要	納得できない事や怖いと感じる事があると、行動が止まる事がある
		不潔行為	不要	ただし、入浴や整容が不十分な可能性あり		思考障害	不要	
		異食行為	不要		感情障害・思考	感情不安定	不要	
		収集癖	不要					
		物忘れ	不要			過大・過少評価	要	自分は人よりできないことが多いという想いは強いとの事（父より）
		反社会的行為(盗癖・虚言など)	不要					

特記事項
健康状態は良く、定期受診などはない。精神面・行動面共に落ち着いている。

その他	留意事項など 対人面での苦手意識を持つと、不安が強くなることが予想される。支援にあたっては、支援者との相性が重要。 春男さんも父も、将来は父と離れて生活をし、働いて収入を得なければいけないという将来像を考えてはいるが、具体的イメージはまだ難しい為、福祉サービスを使う事で、将来の選択肢を増やしていく必要がある。	ジェノグラム ※相談時 

学齢期の情報

※以下の情報については、担当の相談支援得専門員が春男さんの過去の事を知る関係者を探し、情報を得たものである。

児童相談所における判定状況	IQ68といった記録はあるが、詳しいデータは不明。(小学3年時)
中学3年時の通知表より	**日付、時刻**～よく理解できている。 **数、数量**～計算には時間はかかるが、二桁までの加減は大体良好。三桁になると難しいが電卓を使えば可能。買い物学習の時には、300円程度の商品を買う際に、小銭は使わず1000円札で支払い、おつりをもらっていた。 **書字**～筆圧が弱く、読み取れない字も多く、線が一本抜けていたり、多かったりする。筆順は自分なりの書き方。 **読み**～読みは得意で、文章も上手に読む事が出来ていた。文章の意味は、人の心情などの理解は難しい事もあるが、あらすじなどは概ね理解できていた。 **聞き取り**～一対一での指示は入っていくが、集団における指示はほとんど入らない。特に周囲で誰かが話しているとその話にも気をとられてしまう。三人以上で話し合うことはかなりストレスになる。早合点してしまうことも目立つ。 **話すこと**～慣れた相手だと、早口になる。興味のある話では、一方的に話してしまう事がある。 **比較・推測すること**～予想することは苦手。どうすればいいのかを考えて、自分の考えを述べることも難しい。自分の意思を言葉で表すことはできるが、誰かに言われたことをまねているだけのことも多い。
高等部の太鼓部の先生より	最初は興味がない様子だったが、褒め続けるとても張り切り、頑張る事が出来ていた。 高等部3年の際、四葉市のお祭りで部のセンターで叩き、拍手をもらってとても喜んでいた。
高等部の担任からの情報	**指導上の留意点について～** ① 同じような内容のことについても、理解できているときとそうでないときの差が大きい。特に集団の場面では、話したことが届かないことは多かった。 ② 自分でできないときになかなかヘルプコールが出せない。 ③ 教えられたことを忠実にやろうとするが、思った通りにならないと、何か理由をつけてやっていることを止めてしまうことがあった。 ④ 人に認められたい気持ちはとても強く持っており、虚勢を張ってしまうところが度々見られた。 **指導目標を達成していく上で効果が認められたこと～** ① 作業していく内容については、他の生徒がいない教室で、担任と一対一で見本を示しながら教示していくと、5～6工程の内容でも対応できることは多かった。 ② やるべきことについての内容とその手順は、料理のレシピのように、写真を添えて文章で示すと、自分で確認しながら取り組めることが多くなった。 ③ 難しい内容でも、繰り返していねいに声をかけていく事で諦めずに取り組むことが出来た。

四葉市及び近郊の社会資源

四葉市の概要 ・社会資源	・人口は約10万人。人口の役30％は65歳以上の高齢者であり、人口の5％にあたる約5000人が障がい者手帳を保持している。 ・県庁がある明太市（県の中心都市であり、近隣の県も含めて最大の都市）までは車で1時間、電車で30分程度。 ・産業は新都市開発による工場誘致により、第二次産業が増加傾向にある。 ・大型のショッピングモールが数年前に出来て、市外からも人が訪れている。 ・秋の3連休を含めて7日間、伝統ある祭が行なわれる。出店も多く、非常に賑わっており、県外からも人が集まる。 ・電車が通っているが、市の中心地に1か所と、隣の市との境付近に1か所駅があるのみ。バスは大手バス会社が運営しているものと、市が独自に運営するコミュニティバスがあり、バスの便は良い。
障がい福祉サービス事業所について	・就労継続支援A型５ヶ所（農業、清掃、食堂、クリーニング、PC入力業務） ・就労移行支援事業所３ヶ所 ・多機能事業所（就労移行・継続Ｂ型）１ヶ所（今回利用予定の「たんぽぽ」） ・多機能事業所（継続Ｂ型・生活介護）１ヶ所 ・共同生活援助　7ヶ所（内、3か所は「あさがお」及び一体的に管理するグループホーム） ・三障害を対象とした居宅介護支援事業所　1ヶ所 ※春男さんが住む予定のグループホーム「あさがお」から、徒歩やバス利用で概ね30分圏内のみ記載
その他関係機関	・ハローワーク（明太市） ・職業センター（明太市） ・就業・生活支援センター ・相談支援事業所　10ヶ所（内、1か所は「ひまわり」） ・社会福祉協議会 ・社会福祉士会（明太市） ・四葉特別支援学校

共同生活援助(グループホーム)「あさがお」の概要

事業所の概要	共同生活援助 　入居定員７名 　現在、男性６名利用中 　※春男さんが利用する事で７名となる予定 　※夜間は連絡体制のみ 戸建住宅 　居室７部（各８畳） 　世話人室１室 　リビング兼食堂（共有スペース） 　お風呂×２（浴槽あり×１、シャワーのみ×１）　トイレ×２　洗面所×２　キッチン×１
職員構成	管理者　（田原　40代　男性　同法人が運営する生活介護事業所の管理者も兼務） サービス管理責任者（桜井　30代　女性　一体的に管理する3つのグループホームのサービス管理責任者。普段は他のグループホーム内にある事務スペースにいることが多い） 世話人　（中川　60代　女性　子供が独立し、時間に余裕がある。7:00～10：00、15:00～20:00で勤務） 生活支援員　（鈴木　30代　男性　他の3つのグループホーム全てを担当） 世話人　（山本　40代　女性　3つのグループホームで補助的に勤務）
立地条件	住宅地の一角にあり、すぐ隣には公園がある。 歩いて５分の所に コンビニ、スーパーなどがある。 最寄り駅まで徒歩２０分、最寄りバス停まで徒歩５分程度。

就労継続支援Ｂ型事業所「たんぽぽ」の概要

事業所の概要	多機能事業所 ・就労移行　　定員12名 ・就労継続支援B型事業所　定員20名 ・現在、知的・精神・身体など多様な障害種別の方が利用している。 ・春男さんが利用予定のグループホームあさがおからは20分程度(バス10分、徒歩10分)だが、送迎を行なっており、春男さんは送迎サービスを利用予定。なお、ルートの関係で送迎時間は30分程度。
職員構成	管理者　（斎藤　60代　女性） サービス管理責任者（田中） **B型** 職業指導員　（岸田　40代　男性　主任的な立場） 職業指導員　（椎名　20代　女性　新卒で今年度入職） 生活支援員　（奥田　30代　女性　入職5年ほど。その前は高齢者施設で勤務） **就労移行** 職業指導員　（小林　30代　男性　元は営業職。入職3年目） 生活支援員　（吉井　50代　女性　元保育士。入職7年目） 就労支援員　（安藤　30代　女性　入職4年。以前は他の就労移行施設で勤務していた）
利用時間 ／作業時間	9：30～16：00（6.5時間）　／　9：45～15：45（作業4.5時間　昼休み1時間） 基本は平日のみ開所。　※月に1度、土曜日に余暇活動を実施。

主な作業内容（B型の作業）	作業内容	工賃
	カフェ（接客・調理補助・皿洗い）	３００円／時間
	ネジの小分け・袋入れ作業	３００円／時間
	施設外就労（近所の運送会社での倉庫内作業、商品の箱詰め作業）	４００円／時間

【資料1】

サービス等利用計画（案）

利用者氏名（児童氏名）	春日春男さん	障害支援区分	区分2	相談支援事業者名	相談支援センターひまわり
障害福祉サービス受給者証番号	000XXX###	利用者負担上限	0	計画作成担当者	永積はやと
地域相談支援受給者証番	000XXX???	通所受給者証番号	000XXX$$$		

計画作成日	平成30年　〇月　〇 日	モニタリング期間（開始年月）	平成30年〇月　※開始から1か月後	利用者同意署名欄	

利用者及びその家族の生活に対する意向（希望する生活）		（本人） ・父に将来一人暮らしをするように言われ、不安。 ・家事などは全く経験がない。 ・どうやって仕事を探したらよいのか、誰に相談したらよいのかも分からない。 ・自分がどんな仕事が向いているのか分からない。どんな仕事があるのかもよく分からない。 ・父や、高校の太鼓部の先生のようなかっこいい大人になりたい。 ・一緒に遊ぶ友達が欲しい。昆虫の話ができる友達ができたら最高。 （父） すぐにでは無くても良いので、就職して収入を得て、1人で生活できるようになって欲しい。
総合的な援助の方針		グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみをみつけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう支援する。
	長期目標	①　グループホームでは、掃除や洗濯、調理等の生活していく上での力をつける。 ②　就労継続支援B型事業所では、仕事を続けていくうえでの自信をつける。 ③　相談する力をつける。 ④　昆虫等の趣味や、余暇活動等、生活上の楽しみを継続する。
	短期目標	①　グループホームの日常生活に慣れる。 ②　就労継続支援B型事業所の作業に慣れる。 ③　わからないことや困っていることを相談する。 ④　昆虫等の趣味や、余暇活動等の生活上の楽しみについて相談する。

優先順位	解決すべき課題（本人のニーズ）	支援目標	達成時期	福祉サービス等 種類・内容・量（頻度・時間）	課題解決のための本人の役割	評価時期	その他留意事項
1	グループホームでの暮らしを通して、自分で生活をするイメージを持つ。	グループホームの生活に慣れて、掃除や洗濯、調理等自分でできることを増やす。	12ヶ月	グループホーム　毎日	スケジュールを覚えて生活リズムを身に着ける。 掃除や洗濯、調理の仕方は、世話人さんに教えてもらいます。	3か月	＊朝なかなか起きることができない
2	今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい。	いろいろな作業経験を積んで得意なことを見つける	12ヶ月	就労継続支援B型　月～金	就労継続支援事業所での作業を通して経験を増やします。	3か月	＊朝なかなか起きることができない
3	困りごとは相談したい。	生活のこと、仕事のことで困ったり、不安だったりしたことを相談できるようになる	6ヶ月	グループホーム　毎日 就労継続支援B型　月～金 相談支援事業所　随時	グループホームで一日の出来事を報告します。 仕事については、就労継続支援事業所で相談します。	1ヶ月	
4	楽しみを通じて友達を見つけたい	昆虫等の趣味や、余暇活動等の生活上の楽しみについて話を聴きます。	6ヶ月	グループホーム 就労継続支援B型 相談支援事業所	昆虫等の趣味や、余暇活動等の生活上の楽しみについて話を聴かせてください。	3か月	

【資料2】

サービス等利用計画

利用者氏名（児童氏名）	春日春男さん	障害支援区分	区分2	相談支援事業者名	相談支援センターひまわり
障害福祉サービス受給者証番号	000XXX###	利用者負担上限	0	計画作成担当者	永積はやと
地域相談支援受給者証番	000XXX???	通所受給者証番号	000XXX$$$		

計画作成日	平成30年　〇月　〇 日	モニタリング期間（開始年月）	平成30年〇月　※開始から1か月後	利用者同意署名欄	

利用者及びその家族の生活に対する意向（希望する生活）		（本人） ・父に将来一人暮らしをするように言われ、不安。 ・家事などは全く経験がない。 ・自分でも、いつかは仕事をしなきゃいけないとは思っていたが、自信がない。 ・どうやって仕事を探したらよいのか、誰に相談したらよいのかも分からない。 ・自分がどんな仕事が向いているのか分からない。どんな仕事があるのかもよく分からない。 ・父や、高校の太鼓部の先生のようなかっこいい大人になりたい。 ・一緒に遊ぶ友達が欲しい。昆虫の話ができる友達ができたら最高。 ※体験後 ・GHを体験して、職員さんが手伝ってくれるのなら、父と離れても生活できるかなとは思う。 ・B型を体験した時、職員さんが優しく教えてくれたので、楽しかった。 （父） すぐにでは無くても良いので、就職して収入を得て、1人で生活できるようになって欲しい。
総合的な援助の方針		グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみをみつけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう支援する。
	長期目標	①　グループホームでは、掃除や洗濯、調理等の生活していく上での力をつける。 ②　就労継続支援B型事業所では、仕事を続けていくうえでの自信をつける。 ③　相談する力をつける。 ④　昆虫等の趣味や、余暇活動等、生活上の楽しみを継続する。
	短期目標	①　グループホームの日常生活に慣れる。 ②　就労継続支援B型事業所の作業に慣れる。 ③　わからないことや困っていることを相談する。 ④　昆虫等の趣味や、余暇活動等の生活上の楽しみについて相談する。

優先順位	解決すべき課題（本人のニーズ）	支援目標	達成時期	福祉サービス等		課題解決のための本人の役割	評価時期	その他留意事項
				種類・内容・量（頻度・時間）	提供事業者名（担当者名・電話）			
1	グループホームでの暮らしを通して、自分で生活をするイメージを持つ。	グループホームの生活に慣れて、掃除や洗濯、調理等自分でできることを増やす。	12ヶ月	グループホーム　毎日	あさがお サービス管理責任者 桜井 生活支援員　鈴木 世話人　中川	スケジュールを覚えて生活リズムを身に着ける。 掃除や洗濯、調理の仕方は、世話人さんに教えてもらいます。	3か月	＊朝なかなか起きることができない
2	今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい。	いろいろな作業経験を積んで得意なことを見つける	12ヶ月	就労継続支援B型　月～金	たんぽぽ サービス管理責任者 田中 生活支援員　奥田	就労継続支援事業所での作業を通して経験を増やします。	3か月	＊朝なかなか起きることができない
3	困りごとは相談したい。	生活のこと、仕事のことで困ったり、不安だったりしたことを相談できるようになる	6ヶ月	グループホーム　毎日 就労継続支援B型　月～金 相談支援事業所　随時	あさがお 桜井　鈴木　中川 たんぽぽ 田中　岸田 ひまわり　永積	グループホームで一日の出来事を報告します。 仕事については、就労継続支援事業所で相談します。	1ヶ月	
4	楽しみを通じて友達をみつけたい	昆虫等の趣味や、余暇活動等の生活上の楽しみについて話を聴きます。	6ヶ月	グループホーム 就労継続支援B型 相談支援事業所	あさがお　桜井 たんぽぽ　田中 ひまわり　永積	昆虫等の趣味や、余暇活動等の生活上の楽しみについて話を聴かせてください。	3か月	